



チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision

この子を救う。未来を救う。

MOG-181425

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

国情報

モンゴル国



ユーラシア大陸に位置する内陸国で、ロシア、中国と接しています。モンゴル人は遊牧民族として有名ですが、牧畜を離れ都市や農村に定住する人々も増えてきています。国土は日本の約4倍です。人口の95%以上がモンゴル人で、モンゴル語が公用語ですが、カザフ語を使用するカザフ人も暮らしています。宗教はチベット仏教とシャーマニズムが主流です。



出典：外務省

地域情報

ハイラスト地域開発プログラム (MOG-181425)



支援期間：2005年～2022年*

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都ウランバートル市の北部、チンゲルテイ地区ハイラストは、1991年の社会主義体制の崩壊後、機会を求めて地方から移住してきた貧しい世帯が多く住む地域です。国の人口約300万人の半数近くが住むと言われるウランバートル周辺には、このような移住世帯が住む地域が広がり、急激な都市化によるインフラや公的サービスの不足、大気汚染の深刻化、不衛生な環境や貧困などの問題が山積しています。零下40度にもなる厳冬期には、貧しい人々の生命が危険にさらされることもあります。都市部のためモノや情報へのアクセスが容易な反面、それらが原因の犯罪も絶えません。

地域の課題



地方の農村から仕事を求めて移住してきた人々の簡素な家が広がる支援地域の様子



保健衛生・栄養

5歳未満児の**17%**が**慢性的栄養不良**(2013年)



教育

貧困や教育環境の未整備が**子どもの学力に影響**



貧困

失業率が高く、就業者も**収入が不安定**



地域社会の荒廃

大人のストレスのはけ口となり**傷つく子どもたち**



水道が整備されていないため、飲料水は容器を持って給水所に汲みにいきます



保健衛生・栄養

上下水道が未整備で、トイレの普及も遅れているため、水が原因で子どもの下痢が多く発生しています。また、農村部からの人口流入に保健施設の拡充が追いつかず、医療サービスが行き届いていません。貧困や親の知識不足により、栄養状態の悪い子どもが大勢います。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 貯水タンクやトイレの設置支援
- 野外排泄の廃止や衛生習慣についての啓発活動
- 母親に対する栄養ある食事の作り方の研修



地域の人々が安全な飲料水を得られるよう、必要な支援を行います



教育

子どもの増加に幼稚園や小中学校の拡充が追いつかず、混み合った教室で多くの子どもたちが学んでいます。支援地域の子どもたちの読解力は国の平均に比べて低く、教育の質の改善も課題です。親の教育の重要性への理解不足も問題となっています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 教員への教授法の研修
- 保護者への教育の重要性についての啓発
- 幼稚園や学校に通えない子どもへの教育機会の提供



子どもたちが継続的に質の高い教育を受けられるよう支援します



貧困

失業率が高く、仕事があっても収入が低く不安定なため、多くの人々が貧困状況から抜け出せません。貧困から、アルコール中毒や家庭内暴力、離婚など、二次的な問題に発展するケースも増えています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 小規模ビジネスの始め方と運営、財務管理に関する研修
- 手工芸品製作や縫製などの職業訓練の実施
- 市場で販売できる作物の栽培に関する農業技術研修



地域の人々が生計手段を得て、貧困から抜け出せるよう支援します



地域社会の荒廃

地方からの移住者が集まっている地域であるため、住民同士の関係が希薄で、親のアルコール中毒や暴力などで苦しむ子どもが見過ごされがちです。子どもたちが安全に暮らせるよう、地域を構成する個々の家庭の健全化と、住民同士の関係構築が重要です。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 保護者を対象とした研修(子どもの権利と保護、飲酒などの悪習慣を避ける方法、子育てなど)
- 行政との協力によるモデル地区作り



子どもたちの心身の安全が守られるよう、家庭と地域に働きかけます



支援はチャイルドの生活を支える力となります

双子の兄弟、イヘロド君とイジロド君は、病気で寝たきりの父親の世話をしながら学校へ通っています。冬には家の中でも零下32度まで室温が下がるため、石炭を運んで部屋を温めるのも2人の大切な仕事です。

父親が病気になり、困難な生活が続いていますが、イヘロド君とイジロド君はワールド・ビジョンの支援でできたインターネット・センターや図書室に通い、発明家になるという夢を持って勉強に励んでいます。

ワールド・ビジョンは、イヘロド君とイジロド君のような子どもたちが教育を受け、将来への希望を持って成長できるように、支援活動を行っています。